

**建設業の一人親方等に対する
安全衛生教育研修会のご案内**
～無料の研修会を利用しませんか～

建設現場では混在して作業が行われ、統括管理体制のもとに安全衛生管理が行われていますが、雇用されている作業員と同様に一人親方等にも、安全衛生管理の基本的な知識の取得が求められているところ です。

このため建設業労働災害防止協会では、厚生労働省の委託を受け、建設業の一人親方等を対象とした安全衛生教育研修会を実施しています。

この研修会は、建設工事に従事する一人親方(労働者を使用しないで事業を行う者)のほか、中小事業主、役員、家族従業者が対象です。開催日程・お申込は下記のホームページをご覧ください。費用は無料です。

お問合せ先

建設業労働災害防止協会事業部復旧・復興工事安全衛生対策支援センター(建設業の一人親方等に対する安全衛生教育支援事業担当)

電話03-3453-0978(直通)

HP検索→

建災防 建設業の一人親方等に対する安全衛生教育支援事業

雇用管理研修のお知らせ

「建設労働者の雇用の改善等に関する法律」第5条では、「事業主は、建設事業を行う事業所ごとに(中略)、雇用管理責任者を選任しなければならない」と定めています。さらに、同法第5条第3項では、「事業主は、雇用管理責任者について、必要な研修を受けさせる等第一項各号に掲げる事

項を管理するための知識の習得及び向上を図るよう努めなければならない」としています。

このため、国において労働者の募集、雇入れ、配置から退職に至るまでの雇用管理に必要な知識の習得及び向上を目的とした雇用管理研修を開催していますが、今年度はあと2回予定されています。

○コミュニケーションスキル等向上コース

令和4年12月19日(月)

13時～16時30分

神奈川県建設会館2階講堂

○そのほかオンライン講習あり

参加申し込みは(株)労働基準調査会東京支社

電話03-6858-3401

【専用Webサイトは雇用管理研修で検索】

第57回神奈川県建設業労働災害防止大会のウェブ配信のお知らせ

先月号でご紹介したとおり、11月11日開催の神奈川県建設業労働災害防止大会について、当支部のホームページ上にて、オンデマンドで大会の一部(支部長、神奈川労働局長の挨拶、安全の誓い)を公開しています。ご覧いただく際にはパスワードの入力が必要です。

<https://kensaiboukanagawa.com/>

パスワード **kanagawa2022**

年末年始の事務局体制

神奈川支部の事務局は12月28日(水)から1月3日(火)までお休みします。ご迷惑をおかけしますがよろしくお願いいたします。

支部行事予定

第2回理事会

時：12月1日 15:00
所：建設会館講堂

分会事務局長・事務担当者合同会議

時：12月16日 9:00
所：万国橋会議センター

労働局新年挨拶

時：1月5日 10:00
所：神奈川労働局

建設5団体合同賀詞交歓会

時：1月5日 11:00
所：ロイヤルパークホテル

正副運営委員長・部会長会議

時：1月17日 15:00
所：建設会館311会議室

正副支部長・分会長会議

時：1月25日 15:30
所：伊勢山ヒルズ

安全祈願祭

時：1月25日 16:40
所：伊勢山皇大神宮・伊勢山ヒルズ

経営首脳者セミナー

時：3月13日 13:30
所：建設会館講堂

建災防神奈川支部ニュース

No.561 令和4年12月号

建設業労働災害防止協会 神奈川支部

横浜市中区太田町2-22番地 電話045-201-8456 FAX045-201-7735

URL <https://kensaiboukanagawa.com/>

第57回神奈川県建設業労働災害防止大会が開催されました



11月11日、神奈川県民ホール小ホールで第57回神奈川県建設業労働災害防止大会を開催しました。神奈川労働局から西村労働局長をはじめ神奈川労働局の労働基準部の幹部、神奈川県、県内の労働基準監督署長など関係する官庁、建災防本部、全国建設業労災互助会を招き、死亡災害撲滅に向けて墜落・転落災害をはじめとして3つの運動の展開を誓いました。

なお、開催に際して、新型コロナウイルス感染防止の観点から、出席者を表彰受賞者等に絞ったうえで、問診票の提出、検温等の対策を講じました。



西村神奈川労働局長



西海神奈川労働部長



井上本部専務理事



園田労災互助会常務理事

第57回神奈川大会での支部長あいさつなど



冒頭、主催者を代表して黒田支部長から「本来であれば500名程度の規模で開催しているが、昨年に続き新型コロナウイルス感染防止対策の観点から人数を絞っての開催となった」と述べたうえ、「今年の県内の建設業における死亡災害は、10月末で6件であり、昨年同時期の18件の3分の1の水準ではあるものの、数字には表れていない一人親方という立場で働く我々の仲間の尊い命がいくつも失われている。」とカウントされていない災害について触れ、「いまだに災害に関係した送検事例が多く、被災された方々のことが教訓として生かされていないことを重く受け止めなければならぬ。」と危機感をあらわにし、最後に「今後の安全衛生活動の意識の向上に役立てて欲しい。」と求めました。



表彰式（表彰者は4～5項に紹介）の後、相模原分会の伊藤農利夫様から謝辞があり、来賓代表の挨拶を頂きましたが、来賓として出席された西村労働局長からは、本年が第13次労働災害防止推進計画の

最終年に当たることを踏まえ、残念ながら目標件数を越えた死亡災害が発生したものの「大幅な減少を見たことは「セーフティリボン運動」「3分KY運動」「安全行動宣言運動」の『3つの矢』への積極的な貴支部の取り組みが功を奏したものと考えられます。」と三つの運動の成果を強調され、「大会の開催を契機として、労働災害防止活動の中心的存在として会員事業場とともに、引き続き各施策に取り組んでいただくことにより年末年始における労働災害防止の機運を高められるとともに、次年度から全国で展開される予定である第14次労働災害防止計画において、さらなる飛躍を遂げることを期待しております。」と結ばれました。

そのほかに来賓として、神奈川県産業労働局労働部長西海裕

之様、建災防本部専務理事井上仁様、(一社)全国建設業労災互助会常務理事園田宝様にご挨拶をいただきました。



第一部の最後に三橋運営委員長により安全の誓いを確認した後、荻野横浜西労働基準監督署長による送検事例と、三井住友建設(株)横浜支店国際埠頭作業所副所長により、「移動式足場による安全性の向上と作業効率の改善について」と題した講演が行われました。



合同の殉職者慰霊祭を開催

10月27日横浜市港南区の横浜市営日野共墓地内の慰霊碑前において神奈川県建設業協会（松尾文明会長）と合同で神奈川県建設業関係殉職者の合同慰霊祭を開き、業務中に亡くなった殉職者の霊を弔いました。

建災防神奈川支部からは黒田支部長をはじめ、工藤副支部長、澁谷専務理事が出席、ご焼香の後、黒田支部長から「いまだに災害に関係した送検事例が多く、被災された方々のことが教訓として生かされていない

ことが残念になりません。今年も残り少なくなってまいりましたが、協会の皆様のご協力をいただき、年末に向け、さらに気を引き締めてまいりたいと思っておりますので、よろしくお願ひします。」と結びました。



☆建設業における署別労働災害発生状況☆（休業4日以上）

神奈川労働局 令和4年10月末現在

年	署												
	横浜南	鶴見	川崎南	川崎北	横須賀	横浜北	平塚	藤沢	小田原	厚木	相模原	横浜西	合計
本年	49	13	59	36	38	115	34	51	44	43	54	65	601
	(1)			(1)	(1)	(1)		(1)				(1)	6
前年	51	18	38	58	47	63	52	50	39	51	48	75	590
	(1)		(1)		(2)	(1)		(1)	(4)		(3)	(4)	17

(注) 労働者死傷病報告による、()内は死亡者数である。

☆死亡災害発生状況☆

令和4年11月22日現在

業種	年	死亡災害把握数			死亡災害件数		
		本年 (令和4年)	前年同期 (令和3年)	前々年同期 (令和2年)	令和3年	令和2年	令和元年
製造業		1	7	3	8	5 (1)	2
建設業		6 (1)	20 (2)	14 (3)	21 (2)	14 (3)	10 (1)
交通運輸業							1
陸上貨物運送事業		3	2	5 (2)	2	5 (2)	2 (1)
港湾荷役業							1 (1)
商業		5 (1)	3 (2)	1 (1)	3 (2)	1 (1)	1 (1)
清掃・と畜業		4	1	6 (2)	1	6 (2)	3 (1)
その他		3 (2)	12 (4)	4	14 (5)	6 (1)	4 (1)
合計		22 (4)	45 (8)	33 (8)	49 (9)	37 (10)	24 (6)

(注) 死亡災害把握数は、本年のみ欄外表示の日までに把握した死亡災害の件数で、()は、事故の型が「交通事故」であるものを内数で表示しています。令和元年は平成31年も含みます。

☆死亡災害の概要☆

令和4年11月22日現在

番号	発生月 発生時刻	業種 事業場規模 年齢	起因物 事故の型	発生概要
1	3月 9時頃	その他の建設工業 30人～49人 50歳～54歳	玉掛用具 飛来、落下	資材置場において、柱状の資材（約600キログラム）を移動式クレーンでつって旋回中、目通し1本つりのワイヤロープがフックから外れて落下し、つり荷に介添えロープを取り付けようとしていた被災者が下敷きとなった。
2	6月 10時頃	建築工業（2次下請） ～9人 20歳～24歳	高温・低温環境 高温・低温の物との接触	2階建て木造住宅の外部足場を約1時間かけて解体後に、熱中症による体調不良となり病院へ搬送されたが、十数日後に死亡した。 発症時は気温31.7℃、湿度59パーセント（WBGT値27℃相当）であった。被災者は入社以降の現場作業が通算3日目であった。
3	6月 11時頃	建築工業（1次下請） 10人～29人 65歳～69歳	作業床、歩み板 墜落、転落	7階建てビル新築工事現場において、地面に建てた敷地境界柵に安全掲示板を取付け中、当該柵から基礎工事のため垂直に掘り下げた縁までの間が49センチメートルの作業場所から、2.2メートル下の基礎底面コンクリートに墜落した。
4	6月 13時頃	建築工業（1次下請） ～9人 20歳～24歳	その他の仮設物、建築物、構築物等 墜落、転落	2階建て木造住宅解体工事現場において、単管を格子に組んで防じん防音シートを張った仮囲いの点検中、仮囲いの水平材（単管1本）から5メートル下の地面に墜落した。
5	8月 14時頃	建築工業（2次下請） ～9人 55歳～59歳	乗用車、バス、バイク 交通事故（道路）	工事現場での作業を終えた作業員3名が自社に戻るため社用車に乗って移動中、国道の第2車線走行中に右側の中央分離帯に接触した後、第1車線のガードレールに衝突して横転した。助手席から車外に投げ出された1名が死亡し、運転席と後部座席の2名が軽傷を負った。
6	10月 15時頃	土木工業（2次下請） 50人～99人 55歳～59歳	トラック 激突され	道路トンネル（約330メートル）新設工事の坑内で、ずり積込工2次下請の被災者はずり積替え用ドラグ・ショベルのバケットを清掃していた。同ショベルの走行に備えて側面方向に退避した被災者が、後進（方向転換の切り返し中）してきたずり搬出工（坑内運搬）1次下請の10トンダンプに激突された。



昔のことだが、こんな事故があった。

港の倉庫の屋根の掃除をしていて起きたもので、倉庫の屋根は高く5mくらいはあったと記憶している。作業は屋根の棟、最上部から屋根の溝に沿って軒先の方に箒ではいていくもので、手すりどころか命綱、安全帯等は全くなかった。作業者は最初は軒先の方に向かって前向きに掃いていたが、やって見るとわかるが、箒をもって前に掃こうとすると掃きづらく、腕が疲れるため、作業者は途中から軒に対して後ろ向きになり、後退しながら掃いていった。



軒先に近くなったところで反転し、軒先までは前向きで掃くようにしたのであるが、事故は反転することなく、そのまま後ろ向きに軒先から墜落してしまった。

落ち着いて、冷静にこの文章を読んでいる方は、そんな馬鹿なことはしないと思うだろう。

ところが慣れてくると他のことをあれこれ考えるようになり、危険という意識が飛び、自分が今どんなに危険な状態かわからなくなってくる、そんな経験はないだろうか。

こんな例もある。大工さんが屋根から突き出した軒先の垂木を切る作業をしていたときである。

数がたくさんあり、最初は軒先に立って片手で手持ちの鋸で切り落としていたのだが、片手でやるのに疲れたのか垂木に両足をかけて股下の部分を両手で鋸を持って切り始めた。

自分の足をかけていた垂木を切ったので結果どうなるかわかりだと思いが、漫画のような話である。

いずれも不幸中の幸いで死亡には至らなかったのが被災者の話が聞けたのであるが、「なんでそんなことをしたのか」という当方の問いに対して、よくあるパターンであるが、「なんでそんなことをしたのかわからない」という返事が返ってくる。

ようするに仕事に集中、熱中していて、ついつい無意識で行動した、ということではないだろうか。

紹介した事例は、いずれも本来高所作業で行うべ

き墜落防止措置を講じていないという、そもそも問題のある事案ではあるが、そういった周りが見えていないような時に、周りから、一声、「危ないぞ！」と声をかけられれば、はっと我に返って、正気を取り戻すことができるはずで、お互いに注意し合うような環境というのは、ヒューマンエラー防止に非常に有効な事であろう。

とは言っても、普段よっぽど気心を知っている相手ならともかく、人に注意するというのは言うのはやさしいが、現場で初めて顔を合わせた他社の作業員、あるいは自分より上の立場の人にできるか、ということこれは勇気もいることだと思う。

「一声かけ運動」というのがあがるが、現場でお互いに声を掛け合う、そして相手が本当に危ないときに「そこ危ないぞ」と声をかけられる雰囲気を作ることが理想だろうが、これもまた言うのは簡単な話で、推奨してやらせてみたが言われた方がムカッときて喧嘩になってしまったという話も安全の担当者から聞く。

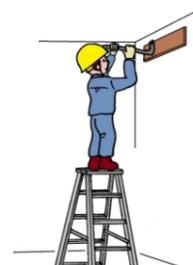
ではどうすればいいのかと考えたときに浮かんだのは、注意する前に、一言挨拶を入れたらということである。

いきなり、「おまえヘルメット被れよ」と言われれば、誰から言われてもイラッと来るだろうが、「おはようございます、ヘルメット被んなよ」と一言入れれば、少しは言われた側の気持ちも和らぐのではないだろうか。

午前中じゃなければ、「ご苦労さん」とか、「お疲れさん」とか、普段からそういったことを取り交わす空気が醸成されていけば他人同士でもしだいに親近感が湧いてくるはずだ。

情けは人のためならず、という言葉があるが、「注意は人のためならず」と置き換え、誰かに注意をすれば、いつかは自分が本当に危ない時に注意をしてもらえ、ということ意識して、言われても「ありがとう」という気持ちを持てれば、神に近い存在になるだろう。

年をとるとそういう感情にはなりにくいものだという事は十分自覚している。(苦笑)



こんな場面で注意できますか？

年末年始の労働災害防止に向けて



千葉 幸則

神奈川県労働局
安全課長

建設業労働災害防止協会神奈川支部及び会員事業場の皆様には、日頃から建設業における安全管理の推進に格別の御理解と御協力をいただいておりますことに厚く御礼申し上げます。

さて、令和4年における神奈川県下の建設業での死亡者数は、10月末日現在、前年よりも11人少ない6人と大きく減少いたしました。

しかし、全産業の死亡者数22人の27.3%を占めており、業種別で最も高い水準にあります。

また、休業4日以上死傷者数は、建設業において601人と昨年同時期に比べて、11名の増加にとどまっていることにつきましては、貴支部の提唱した「セーフティリボン運動」「3分KY運動」「安全行動宣言運動」が着実に浸透し、皆様の日ごろの運動の実施の成果が実を結んでいるものであらうと想像されます。

この場をお借りいたしまして、厚く感謝申し上げます次第です。

話は変わりますが、新聞記事に東海大相模高校の野球部監督であった門間さんが、過去、監督と現在の巨人のエースである菅野投手の当時の起用方法などに関する心の葛藤や、自分の思いが強すぎたことで結果的に菅野投手を酷使してしまったことを自戒しており、高校野球の神奈川県大会はレベルが高く、まして夏の大会でもあり、菅野投手一人に決勝までの8戦のうち7戦を任せてしまい、決勝戦で負けた時に菅野投手の本心を聞いた時が今後

の指導の転機であったと述べていました。

自身でも思うところがあり、その後は、大会には必ず複数人の投手を用意し、選手の状態を細かくチェックするようになり、選手の授業や学校生活の大切と気を配ることとなった。

そして、自分には、「選手に『見逃すな』と言う以上、自分自身も『見逃すな』」と言い聞かすようになったと述べています。

成長には、見守ることは大事かもしれないが、選手が出す何か違ったサインを私たちは見逃してはいけません。

これは、日々変化する建設現場の管理においても、監理者である現場代理人がしっかり現場やそこで働く作業員の日々の変化を見逃さずに管理することの大事さを表現した言葉であり、実践する価値もあると思います。

少しでも実行できるように努力していきましょう。

終わりに、建設業年末年始労働災害防止強調期間が12月1日から来年1月15日まで開催され、本年の当期間のスローガンは、

「無事故の歳末 明るい正月」

となっております。

このスローガンそのままに、神奈川県労働局管内における建設業の労働災害件数の減少傾向が続きますことを祈念しております。皆様の本気の現場における安全管理をどうぞよろしくお願いいたします。

建設業年末年始労働災害防止強調期間実施中

スローガン 無事故の歳末 明るい正月

本期間：令和4年12月1日～令和5年1月15日

主唱：建設業労働災害防止協会 後援：厚生労働省、国土交通省

第57回神奈川県建設業労働災害防止大会で表彰された皆様おめでとうございます。

優良賞

会社（20社）

川崎南	株式会社神奈川商会 トヨカ電気株式会社	小田原	株式会社ミヤケ電池サービス 有限会社山崎土木 株式会社永田組 有限会社丸要建設 株式会社湯河原小型産業
横須賀	株式会社カトウ土建工業 佐原工業株式会社 有限会社美好興業 有限会社タカナシ 株式会社三堀塗装店	厚木	大東電業株式会社
湘南	株式会社水村工務店 大高建材株式会社 淡島空調株式会社	相模原	有限会社アイコーポレーション 株式会社コレキ塗装 有限会社ワイエムエイ企画 林建設株式会社

工事現場（24現場）

横浜南	株式会社渡辺組 風越建設株式会社 株式会社鴻池組 横浜支店 株式会社鴻池組 横浜支店 株式会社テクノジャパン	横浜マリナタワー改修工事（建築工事） オープンレジデンシア横浜台町新築工事 新東名高速道路 西富岡地区調整池整備工事 （仮称）JAよこすか葉山本店・統合支店新築工事 港南台六丁目ほか1か所口径50mmから150mm配水管布設替工事
横浜北	前田建設工業株式会社 東京土木支店 東電同窓電気株式会社 株式会社大勝 東急建設株式会社 都市開発支店 工藤建設株式会社	星川・天王町駅付近連続立体交差事業工事（第2工区土木関係その16）他 西部児童相談所その他再整備工事（電気設備工事） （仮称）横浜市中区松影町2丁目計画新築工事 TKKリニューアル建築作業所 野毛キアガーデン新築工事
横浜西	株式会社岡田建設 株式会社社長野工務店 小雀建設株式会社 大洋建設株式会社	港北処理区等地域防災拠点等（羽沢小）流末枝線管きよ耐震化工事（その2） 本牧大里町ほか1か所口径75mmから150mm配水管布設替工事 R2国道1号西湘バイパス災害対策工事 横浜こどもホスピタル新築工事
川崎南	レイズネクスト株式会社 川崎事業所 レイズネクスト株式会社 川崎事業所	日本ゼオン株式会社 2021年度 定検工事 三井化学株式会社市原工場2UPC 21年度夏季工事

川崎北	藤光建設株式会社 ジェクト株式会社 株式会社末長組	高津小学校職員室及び既存校舎改修その他工事 （仮称）上新城第2TJ計画新築工事 ASTILE用賀新築工事
平塚	株式会社エス・ケイ・ディ	（仮称）オリエンタルダイヤ二宮工場増築改修工事
厚木	株式会社小島組 国土開発工業株式会社 人の森株式会社 大和ハウス工業株式会社 神奈川西支社	鎌倉高校B棟他改修及び耐震補強工事（建築） R1厚木出張所管内橋梁補修工事 R2横浜湘南道路藤沢地区改良その2工事 神奈川スバル株式会社相模原店新築工事

団体（1団体）

川崎南	篠原建設株式会社安全衛生協議会
-----	-----------------

個人賞

功労賞（14名）

横浜南	安藤 竜一 木村 仁一 渡辺 弘一	株式会社安藤建設 風越建設株式会社 株式会社白井組	平塚	小林 洋介	株式会社エフリード湘南
横浜北	相澤 浩樹	奈良建設株式会社	小田原	花岡 重徳	株式会社工務ハナオカ
横須賀	山村 信幸	株式会社美濃屋山村電気	厚木	石井 公	石井建設株式会社
湘南	中田 博之 金井 節雄	株式会社登土ま園 株式会社大春工務店	厚木	甲斐 照彦	愛甲建設株式会社
			相模原	滝澤 吉男 田口 孝平 伊藤 農利夫	有限会社小林土建 有限会社美容建材開発 株式会社相模工業

功績賞（35名）

横浜南	菊地 宏肇 佐原 幹久	株式会社安藤・間 東京支店 株式会社フジタ 横浜支店	横須賀	草間 泉 橋本 信次	株式会社ハイウッド 有限会社環建設
横浜北	林 明瑞	株式会社シンデン	川島	川島 高弘	川島建設株式会社
横浜西	三浦 浩二 川部 大輔	大洋建設株式会社 神奈川美研工業株式会社	玉澤 博	赤穂 一義	株式会社大建設備工業 有限会社東住設
鶴見	吉野 憲一 黒川 直樹	信幸建設株式会社東日本支社 松浦企業株式会社	湘南	竹内 浩昭	有限会社竹内工務所
川崎南	吉田 哲也 村松 卓	株式会社トビキク 株式会社村松工務店	田中 宏明	和田 辰男	株式会社田中建設工業 株式会社永沢興業
川崎北	佐田 正治	佐田建設株式会社	平塚	成瀬 正憲 伊東 俊明 松倉 恒雄	成瀬産業株式会社 府川電機工業株式会社 株式会社池田建設

酒井 政彦	株式会社池田建設	
小田原	榎原 工道 菊池 則夫 兵藤 一良	出雲浄水株式会社 有限会社野木建設 有限会社兵藤スポーツ企画
厚木	志村 和人 幸 真司	株式会社小島組 株式会社関野工務店
相模原	久野 孝広 田中 勝也 石井 房良	久野建設株式会社 有限会社ツカサ設備 有限会社いしい建商
空調	名越 徳晶	株式会社ヨコレイ
塗装	高橋 聡己 山田 五郎 和田 正哉	株式会社大和 株式会社鹿沼 横浜コーティングPro.株式会社

職長賞（9名）

横浜南	坂井 勝義	株式会社浦山工務店
横浜西	伊藤 美智一	株式会社小泉建設
川崎南	浜村 健次	関東サッシサービス株式会社
川崎北	上村 翼	矢島建設工業株式会社
厚木	伊藤 博幸	株式会社塩川興業
厚木	綿貫 勝敏	秋南興業有限会社
瓦屋根	角田 伯雄	有限会社角田瓦店
左官	相田 直人	有限会社ID. JAPAN
型枠	芳賀 格	株式会社信幸工務店

